



いかたちょう
伊方町

〒796-0301
西宇和郡伊方町湊浦1993番地1

電話
番号 (0894)
38-0211

地域
指定 半島 過疎 農工 辺地(11) 特農
農振 国立公園 県立公園 拠点都市

FAX (0894)
38-1373
(総務課)

〈沿革〉

平17. 4. 1 町制施行
(三崎町・瀬戸町・伊方町 合併)

〈市町のあらまし〉

愛媛県の最西端、豊予海峡に突き出した「日本一細長い」佐田岬半島に位置し、南は宇和海、北は瀬戸内海と三方を海に囲まれている。半島の中央部は200～300m級の低い山地が東西に連なっており、平地が少ない。気候は、年間気温16～17℃で、著しい寒暖の差がなく温暖な海洋性気候である。

風光明媚なこの地域は「耕して天に至る」と言われる段々畑で温州みかん、清見タンゴール、デコポンなどの果樹栽培が盛んに行われている。また、天然の好漁場に恵まれ、高級魚の一本釣りや採介藻、底引き網漁業が主に営まれ、山の幸、海の幸を利用した加工品も多く生産され、これら特産品を求めて観光客が県内外から訪れる。

また、この地域特有の風を利用した風車建設を行うなど、自然エネルギーの利用を推進している。

〈由来〉

「伊方」という名の起源はいつの時代からかはっきりしていないが『日本地名語源事典』の「イカタ」「イガタ」の項に『土地がらがさまざまで地形語ではあるまい。「イヘカタ」(家方)か「イホカタ」(庵方)で、もと仮小屋のあった所をいうか、農・漁業の小屋であったかもしれない』とある。

また、一説には「イカ」は山ろくなど後方に山を負うところにみられる地名で「タ」は土地の意味である。後ろに山をかかえた地形から名付けられたものか、はっきりしたところはわからない。

〈庁舎の建設年度〉

建築年度	増 改 築	主な増改築箇所
平13年度		

〈行政組織〉

(平成27.6.1現在)

区 分	名 前	任 期
町 長	やました 山下 和彦	平成30. 4.15
副町長	森口 又兵衛	平成30. 5. 8

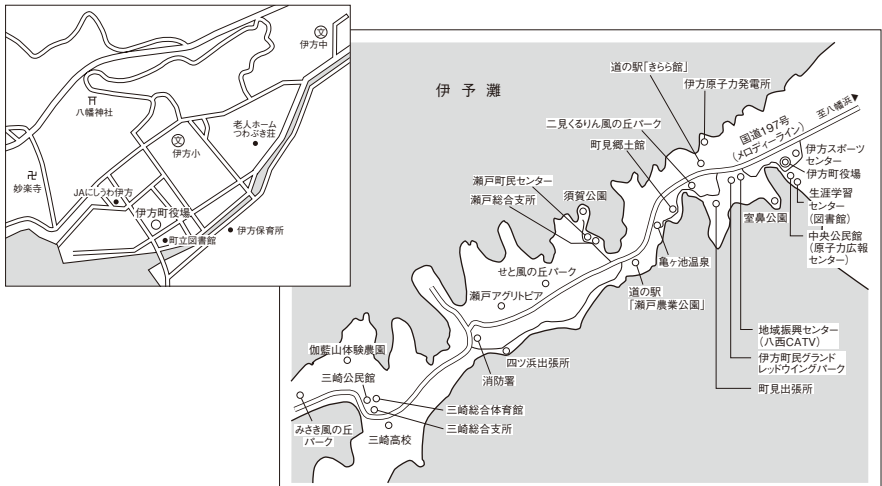
議 会 (平成27.4.28現在)

議長	吉谷 友一	副議長	小林 絹久
議員	(条例定数) 16人		
	(現 員) 16人		
任期	平成29. 4.23		

職員数 (平成27.4.1現在)

普通会計	165人
企業会計	26人
その他会計	13人
計	204人

〈地 図〉



(交通機関) J R八幡浜駅から伊予鉄南予バスで約20分

〈人口・世帯数〉

()は増減率

区 分	60国調	平2国調	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	27.1.1住基
人 口	(△7.1%) 17,424	(△7.8%) 16,060	(△7.9%) 14,787	(△8.5%) 13,536	(△10.6%) 12,095	(△10.0%) 10,882	10,489
男	8,212	7,563	6,962	6,357	5,698	5,125	4,994
女	9,212	8,497	7,825	7,179	6,397	5,757	5,495
世帯数	6,091	5,993	5,760	5,521	5,183	4,884	4,878

年齢構成 (平22国調)

選挙人名簿
登録者数 (平27.9.2現在)

区 分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上
人 口	1,066 人	5,569 人	4,247 人
構成比	9.8 %	51.2 %	39.0 %

男	4,286 人
女	4,733 人
計	9,019 人

西宇和郡

〈土地利用〉

(平22.2.1現在) (ha. %)

総面積 平26.10.1(km)	林野面積	林野率	経営耕地面積			宅地化率 平25.1.1	
			田	畑	樹園地		
93.98	4,750	50.3	1,083	0	43	1,040	2.9

〈産 業〉 産業構造

(百万円・人)

区 分	総生産額(平24年度)		就業人口(平22国調)	
	金額	率	人数	率
第1次	4,158	14.3 %	1,770	33.3 %
第2次	4,352	15.0 %	924	17.4 %
第3次	20,575	70.7 %	2,614	49.2 %
計	29,085	100.0 %	5,312	100.0 %

(注)「総生産額」の計欄は帰属利子の控除等を行っており、「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

主要製造業 (平25年)

(百万円)

所得 (平24年度)

品 名	製造品出荷額等
食料	2,552

※その他の品名における製造品出荷額等は、1又は2の事業所に関する数値で、これをそのまま掲げると個々の申告者の秘密が漏れるおそれがあるため秘匿とした。

1人当たり 市町民所得	千円 2,232
----------------	-------------

平成26年度の主な建設事業

(百万円)

今後の主な建設事業

(百万円)

事 業 名	事 業 費	事 業 名	事 業 費
観光交流拠点施設新築事業	146	伊方町水道事業中央監視システム一元化及び電気計装設備更新事業	988
町道灘線改良事業	131	町道宇和海線改良事業	730
町道九町越線改良事業	96	消防施設等整備事業	286
町道宇和海線改良工事	67	足成漁港東防波堤(改良)事業	250
町道大佐田名取口線改良事業	65	観光地グレードアップ事業	202
九丁漁港海岸保全施設整備事業	60		

〈観光・レクリエーション〉

名勝旧跡	○伊方地域	堂々山、女子岬、亀ヶ池、なぎの木、室鼻公園、レッドウイングパーク、道の駅「さらら館」、亀ヶ池温泉、二見くるとん風の丘パーク
観光施設	○瀬戸地域	権現山、須賀公園、番匠鼻、川之浜海水浴場、塩成海水浴場、大久海水浴場、瀬戸展望休憩所、道の駅「瀬戸農業公園」、せと風の丘パーク、高茂高原
	○三崎地域	国立公園佐田岬灯台、県立自然公園伽藍山、阿弥陀池、梶谷鼻、天然記念物あこ樹、伝宗寺の大楠、伽藍山展望台及び体験農園等、ムーンビーチ井野浦、みさき風の丘パーク
祭り	○伊方地域	秋まつり(10月中旬)、駅伝大会、スポーツレクリエーション祭、
催し物	○瀬戸地域	きなはいや伊方まつり(7月下旬)、夏越祭(わぬけ)
	○瀬戸地域	秋まつり(10月中旬)、瀬戸の花嫁まつり(8月上旬)、海のついでい(5月上旬)、もお〜モォ〜フェスティバル(4月下旬)、風車まつり(10月上旬)
	○三崎地域	秋まつり(10月8日・9日)、伽藍祭(4月上旬)、お十五日(1月15日)、お伊勢踊り(2月11日)、権現祭(旧6月14日)、高神様祭(7月20日)、実盛様(虫送り)(旧5月16日)、輪くぐり(6月30日)、盆体育大会(8月14日)
公営宿泊施設	○瀬戸地域	瀬戸アグリピア

〈名物・特産品〉

○伊方地域	ハウスみかん、温州みかん、伊予柑、地酒、ちりめん、つわぶきの漬物、みかんジュース、じゃこてん、じゃこカツ
○瀬戸地域	温州みかん、瓶ウニ、ちりめん、わかめ、しいたけ、瀬戸金太郎いも、瀬戸アジ
○三崎地域	清見タンゴール、サンフルーツ、伊予柑、デコボン、伊勢エビ、フグ、アワビ、サザエ、ウニ、タイ、アジ、サバ、瓶ウニ、太刀魚の骨センベイ

〈主な公共施設〉

伊方スポーツセンター(温水プール、アリーナ、トレーニング室等) 町民グランド 瀬戸球場 体育館(10) 武道館(2) 瀬戸アグリピア(短期滞在型宿泊施設) 室鼻公園(海水プール、シーサイドハウス、キャンプ場) 須賀公園(海水プール、キャンプ場) 道の駅「さらら館」、「瀬戸農業公園」 風の丘パーク(二見、せと、みさき) 風力発電所 亀ヶ池温泉 レッドウイングパーク 園芸施設 農水産物処理加工施設 三崎種苗生産施設 生涯学習センター(図書館、児童館、杜氏資料館) 町見郷土館 町民センター 公民館(4) 保育所(8) 小学校(6) 中学校(3) 給食センター(2) 県立高校 診療所(4) 保健センター(3) デイサービスセンター(4) 老人憩いの家(8) 集会所(49) 隣保館

〈主要課題〉

佐田岬半島の自然と伝統文化を尊び、合力(こうりく)の心に抱かれながら、心豊かに生きるという喜びが次の世代にやさしく広がるまちを目指し、将来像「よこびの風薫るまち伊方」を掲げ、協働・共生・個性を大切に、一人ひとりがキラリと光るまちづくりを実現するため、6つの基本目標を定めまちづくりを進めます。

「1」保健・医療・福祉 健やかで、あたたかい心がふれあうまちを目指して
「2」教育・文化 ふるさとを愛し、豊かな心を育てるまちを目指して
「3」社会基盤 安心・安全で、快適に暮らせるまちを目指して
「4」環境保全 美しい自然を、みんなで守るまちを目指して
「5」産業振興 自然と親しみ、共に育む産業のまちを目指して
「6」住民協働・行財政 みんなの参加と、信頼の輪による協働のまちを目指して

〈地域づくりの事業等〉

1. 健やかで、あたたかい心がふれあうまちを目指して
 - 健康増進活動の推進 ○医療体制の充実 ○子育て支援の充実 ○高齢者福祉の充実
 - 障害者福祉の充実 ○地域福祉の充実
2. ふるさとを愛し、豊かな心を育てるまちを目指して
 - 学校教育の充実 ○生涯学習・生涯スポーツの活性化 ○伝統・文化の継承と発展
3. 安心・安全で、快適に暮らせるまちを目指して
 - 道路・河川の整備・交通環境の充実 ○港湾機能の充実 ○住環境の充実(住宅・公園)
 - 自然エネルギー・高度情報基盤の活用 ○防災・消防体制の充実 ○安心・安全なまちづくりの推進
4. 美しい自然を、みんなで守るまちを目指して
 - 資源循環型社会の実現 ○上・下水道の整備 ○自然環境・生活環境の向上
5. 自然と親しみ、共に育む産業のまちを目指して
 - 農業の振興 ○水産業の振興 ○観光・ツーリズム・商工業の振興
6. みんなの参加と、信頼の輪による協働のまちを目指して
 - 人権尊重・男女共同参画社会の推進 ○地域間交流・国際交流の推進 ○協働のまちづくりの推進

〈市町が出資している地方公社の設立状況〉

(平成27.4.1現在)

形態	地方公社の名称	設立登記 年月日	資本金(千円) 出資割合(%)	主 な 事 業 内 容
(公財)	伊方原子力広報センター	昭58.4.1	6,000 (33.3)	原子力とその平和利用に関する知識の普及啓発
(株)	クリエイト伊方	平9.9.1	10,000 (45)	農水産物の加工・販売等
(株)	アグリ瀬戸	平12.9.1	10,000 (59)	農水産物の加工・販売等

〈総合計画〉

基 本 構 想			基 本 計 画
計 画 の 名 称	議決年月日	期 間	期 間
伊方町総合計画	平18.12.18	平18～平27年度	平23～平27年度

〈行政機構〉

(平成27.4.1現在)

